未分化大細胞リンパ腫に発現する KIR2DL4 の役割の研究

1. 研究の対象

2000年4月1日～2023年3月31日までに岩手医科大学附属病院または京都大学医学部附属病院で病理検査を受け、未分化大細胞型リンパ腫または原発性皮膚 CD30 陽性 T 細胞リンパ増殖異常症（原発性皮膚未分化大細胞型リンパ腫およびリンパ腫様丘疹症を含む）と診断された方

2. 研究期間

研究実施許可後～2026年3月31日まで

3. 研究目的・方法

未分化大細胞リンパ腫(ALCL)は細胞表面マーカーCD30の発現を特徴とするT細胞リンパ腫です。ALCLは近年、様々な治療法が研究・開発され、予後は改善されつつあります。しかし、特にALK陰性の症例では未だに治療成績が悪く、更なる研究・開発が求められています。

ALCL培養細胞株ではKIR2DL4の発現が確認され、一方でKIR2DL4を発現している非腫瘍細胞はナチュラルキラー(NK)細胞及びマスト細胞のみです。その特異性から、抗KIR2DL4抗体がALCLの治療に役立つ可能性があります。

そこで、病理診断に使用し終わったホルマリン固定パラフィン包埋検体（予定症例数：各施設30件）についてKIR2DL4の免疫染色を行い、ALCLの組織検体でKIR2DL4が実際にどれだけの割合でどの程度発現しているかを評価します。

なお、遺伝子変異の検索は行いません。

4. 研究に用いる試料・情報

情報：年齢、性別、病理診断名、病歴、治療歴、治療経過 等

試料：生検・手術で摘出した組織 等

本研究で取得した上記の試料は研究終了日から5年／結果公表日から3年(いずれか遅い日)まで保管し、情報は研究終了まで保管します。保管期間終了後は適切に廃棄します。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性があります。

学会における発表や学術論文への投稿によって研究成果を公表する際には患者さんのプライバシーが保護されるように配慮した上で行います。

5. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人を特定するための情報は、本学の研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

共同研究機関

京都大学医学部附属病院

7. 研究費および利益相反

本研究は、病理学講座機能病態学分野講座研究費により実施されます。研究者は本研究に関係する企業等から個人的及び大学組織的な利益を得ておらず、開示すべき利益相反はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究責任者：

片岡 竜貴

岩手医科大学医学部病理学講座機能病態学分野

〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通 1 - 1 - 1

TEL : 019-651-5111 (内線 5920)

FAX : 019-697-8880

E-mail : trkata@iwate-med.ac.jp

-----以上